

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。
 ※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

番号 (五十番順)	区域	氏名	職業	年齢	性別	推薦を受けた者			推薦をした者					
						経歴	農業経営の状況 (耕作面積・作付品目・農業従事日数)	推薦の理由	農業委員候補者としての推薦の有無	団体の名称	団体の目的	代表者氏名	構成員の人数	構成員たる資格等
1	小野	家久 英雄	農業	78	男	平成23年4月～現在 松山市梅本地区土地改良区理事長	30a 米、柿、ナス 年間200日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。	無	松山市梅本地区土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い農業生産の向上を図る。	理事長 家久 英雄	500	地区内に農地を所有又は耕作していること
2	堀江	大西 俊成	農業	60	男	平成27年～平成29年 堀江土地改良区理事	50a 米、白ネギ、イチジク 年間360日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。	無	堀江町土地改良区	農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	安井 和久	206	地区内に農地を所有又は耕作していること
3	浮穴	川本 裕司	農業	65	男	平成25年4月～現在 スポーツ推進委員 令和8年4月～現在 南高井土地改良区総代	70a 水稲 年間250日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。	無	松山市南高井土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	理事長 井門 明彦	295	地区農地所有者及び耕作者
4	西中島	喜田 治三郎	農業	71	男	令和6年4月～令和7年3月 中島総代会鏡地区副総代 令和7年4月～令和8年3月 中島総代会鏡地区総代	90a 柑橘(せとか、はるみ、甘平) 年間200日	農業の仕事にも熱心に従事し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められる。	無	中島総代会	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	山田 健生	32	地区の正副総代
5	北条	篠原 武司	農業	69	男	平成29年4月～現在 北条辻土地改良区理事長 令和5年7月～令和7年7月 JAえひめ中央経営管理委員 令和5年4月～令和7年4月 丸温松山中央青果非常勤役員	30a 水稲、タマネギ、キャベツ 年間200日	地区内農業事情に精通し、農家との信頼も厚い。	無	松山市北条辻土地改良区	農業生産基盤の整備又管理を行い、農業生産の向上を図る。	篠原 武司	140	地区内に農地を所有又は耕作していること
6	小野	柴田 真基雄	農業	61	男	昭和58年4月～令和7年3月 中国四国農政局横田開拓建設事業所 令和7年4月～現在 水泥町土地改良区理事	73a 水稲、キュウリ、トマト 年間300日	専業農家としては2年目であるが、自作の水稲栽培のほか、耕作放棄地を引き受けて野菜を栽培するなど、広い視野に立って農業に取り組み、将来地域の中心的立場になると思慮されるため、推薦するものである。	無	松山市水泥町土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び保全を行い、農業生産の向上を図る。	永田 哲	89	水泥町の農地所有者
7	久米	仙波 克彦	農業	71	男	令和元年4月～現在 北久米町土地改良区役員	25a トマト、キュウリ、大根 年間200日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。	無	松山市久米地区土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	仙波 勝博	770	久米地区内で、田畑を所有・耕作者
8	粟井	玉井 力	兼業農家	61	男	令和3年4月～令和5年3月 粟井支部長 令和4年6月～令和7年5月 JAえひめ中央経営管理委員	70a 柑橘 年間200日	農業に関する実績も高く、地区内の農業事情にも精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。	無	えひめ中央農業協同組合 北条南支所	地区内の農業経営安定と生活向上、又農業生産の向上を図る。	白石 智則	12	地区内組合員
9	東中島	中村 石尚	農業	71	男	平成18年～平成19年 生産部長 令和6年～令和7年 青果支部長	81a 温州、伊予柑、甘平 年間230日	地区内の農業事情に精通し、地区内外の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められます。 よって推薦するものであります。	無	宮野地区	地区内の行政的援助、地区内の行事の計画、実行	池上 裕治	110	住民

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。
 ※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

番号 (五十番順)	区域	氏名	職業	年齢	性別	推薦を受けた者				推薦をした者				
						経歴	農業経営の状況 (耕作面積・作付品目・農業従事日数)	推薦の理由	農業委員候補者としての推薦の有無	団体の名称	団体の目的	代表者氏名	構成員の人数	構成員たる資格等
10	石井	西岡 秀樹	農業	61	男	昭和57年3月 愛媛県立伊予農業高等学校卒業 昭和57年4月～現在 農業 平成5年7月～平成14年7月、 令和2年7月～令和5年7月 松山市農業委員 平成23年8月～現在 認定農業者 令和5年7月～現在 松山市農地利用最適化推進委員	250a 水稲、レンコン、ナス 年間250日	農業者のリーダーとして地区内からも厚い信頼を受けており、生産意欲、研究心、向上心も強いことから、今後一層の活躍を期待して推薦するものである。	有	松山市石井地区総代会	石井地区の農業の振興と農業構造の改善に資する。	北村 健市	17	農業者
11	久谷	丹生谷 宗久	農業	76	男	令和6年～現在 荏原土地改良区理事 令和8年4月～現在 荏原農協運営委員	100a 花き 年間200日	地区の農業事情にも深く精通し、地元の情報も厚い。地域のお世話も長年に渡り続けている。	無	松山市荏原地区土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	理事長 三好 晶一	1,184	地区内に農地を所有又は耕作していること
12	久枝	野本 正志	農業	74	男	平成26年4月～平成27年3月 久枝公民館安城寺分館分館長 平成28年4月～令和8年3月 安城寺町土地改良区理事 令和3年4月～令和4年3月 安城寺町土地改良区理事長	160a 米、蚕豆、アボカド 年間250日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。	有	久枝土地改良協議会	久枝地区の農業振興を図る団体	森田 久典	12	集落の代表
13	垣生	藤崎 温	農業	79	男	平成28年4月～令和4年3月 垣生土地改良区理事 令和4年4月～現在 垣生土地改良区理事長	50a 水稲、野菜 年間300日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。	無	松山市垣生土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	理事長 藤崎 温	163	地区内に農地を所有又は耕作していること
14	湯山	松本 敏幸	農業	60	男	平成18年4月1日～現在 溝辺区長場副区長 平成22年4月1日～現在 溝辺町自治会副会長	80a レモン、キウイ、甘平 年間300日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため溝辺町から推薦するものである。	無	松山市溝辺町	地区における公的機関等と地域の諸問題を検討、解決するとともに地域発展及び親睦を深めること	区長 西岡 義則	50	地区の住民であること等
15	浅海	前田 俊彦	農業	72	男	平成25年4月～平成29年3月 令和3年4月～令和7年3月 浅海地区区長会会長 令和6年8月～現在 北条市土地改良区理事 令和6年2月～現在 北条市畑地帯総合土地改良区監事	180a 伊予柑、甘平、紅まどんな 年間200日	現在完成間近の浅海原地区の農地中間管理機構関連農地整備事業の発起人であり、代表世話人として地元関係者と行政の連絡を図り、工事完成に向けて精力的に働いた。地域の農業事情に精通し、農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため、推薦するものである。	無	浅海地区区長会	地区内の農地・農業施設を維持管理し、産業の振興、住民の福祉向上を図る。	杉浦 政昭	9	区長

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。
 ※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

番号 (五十番順)	推薦を受けた者							推薦をした者						
	区域	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況 (耕作面積・作付品目・農業従事日数)	推薦の理由	農業委員候補者としての推薦の有無	団体の名称	団体の目的	代表者氏名	構成員の人数	構成員たる資格等
16	久谷	光田 研二	農業	72	男	平成24年12月～現在 民生委員 平成22年～現在 土地改良区総代 令和8年4月～現在 久谷本組水利総代	35a 水稲 年間120日	地区内の農業事情に詳しく、また、地区内の農業者からの信頼も厚く、熱心に稲作に取り組みされており、推薦するものである。	無	松山市坂本地区土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い農業生産の向上を図る。	理事長 尾崎 正夫	412	地区内に農地を所有又は耕作していること
17	潮見	宮内 和弘	農業	52	男	平成20年度 平田町総代 令和7年～現在 JAえひめ中央平田支部支部長	190a 柑橘、水稲 年間250日	平田町の農業事情をよく知っており平田町の農業者からも信頼されている。また本人の農業者としての意欲も高いので推薦します。	無	平田町水利組合	平田町の農業生産基盤の整備と開発を行い農業生産の向上を図る。	一色 昭寛	11	地区内に農地を所有又は耕作していること
18	味生	宮崎 真一	農業	73	男	平成20年4月～現在 大正寺水利組合総代	15a 水稲 年間100日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。	無	味生総代会	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	日野 政孝	16	各地区の総代
19	余土	森 克俊	農業兼団体職員	62	男	平成20年3月～現在 余土土地改良区総代	20a 水稲 年間110日	地域の農業者から信頼もあり、地区内の農業に詳しく生産意欲も高いため推薦する。	無	松山市余土土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	森 俊一	251	地区内に農地を所有又は耕作していること
20	和気	森川 深雪	会社員	62	女	令和4年4月～現在 土地改良区事務 令和7年4月～現在 土地改良区理事 令和5年7月～現在 農地利用最適化推進委員	無	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、農業の意欲関心も高いと認められるため推薦するものである。	無	松山市太山寺土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	岡本 邦久	287	地区内に農地を所有又は耕作していること

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。
※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

番号 (五十番順)	区域	氏名	職業	年齢	性別	推薦を受けた者				推薦をした者				
						経歴	農業経営の状況 (耕作面積・作付品目・農業従事日数)	推薦の理由	農業委員候補者としての推薦の有無	団体の名称	団体の目的	代表者氏名	構成員の人数	構成員たる資格等
21	興居島	山内 望	農業	58	男	昭和60年3月 愛媛大学農学部附属農業高等学校卒業 平成元年8月～平成7年9月 株式会社谷商店 平成7年4月～平成7年9月 聖カタリナ大学社会福祉学部非常勤講師 平成9年4月～令和3年9月 愛媛大学教育学部非常勤講師 平成7年9月～現在 農業 令和2年4月～令和5年3月 松山市農協青壮年部興居島支部長 平成20年4月～平成21年3月 松山市PTA連合理事 平成17年4月～平成19年3月 愛媛県農業後継者連絡協議会松山地区理事 令和2年4月～令和7年3月 中山間泊北集落代表 令和6年4月～現在 松山市消防団興居島分団団長 令和3年3月～現在 県無形民族文化財船踊り興居島船踊保存会会長	150a 伊予柑、温州みかん、レモン 年間320日	愛媛県農業後継者連絡協議会松山地区理事や中山間泊北集落代表などの経験もあり、松山市消防団興居島分団団長等、幅広く地域に貢献しており、地域の農業者からの信頼も厚い。 また、聖カタリナ大学・愛媛大学の非常勤講師の経験もあり松山市泊土地改良区より推薦するものである。	有	松山市泊土地改良区	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	山内 孝明	96	地区内に農地を所有又は耕作していること
									松山市農協興居島地区運営委員会	地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。	小池 真悟	11	運営委員及び部会長	
22	伊台	吉岡 幸二	農業	50	男	令和5年7月～ 松山市農業委員	80a キュウリ、柑橘、花木 年間320日	地元農業に精通しており、本人も農業に意欲的であるため。	無	松山市伊台土地改良区	溜め池、農道、農業水路の保全	改良区理事長 松浦 景一	386	地区内に農地を所有又は耕作していること
23	河野	渡部 昭彦	農業	72	男	平成31年4月～令和3年3月 河野別府区長 平成27年4月～平成29年3月 令和2年4月～令和4年3月 農事委員長	4. 5a 水稲 年間200日	前任者から推薦があり、区長会としても推薦に値するものと認められるため。	無	河野地区区長会	区長会	西原 康彦	15	各地区の区長
24	石井	渡部 康夫	農業	76	男	令和2年3月～現在 松山市立待郷土地改良区理事長 令和元年4月～現在 松山市地域農業再生協議会松山市農業協同組合代表 令和元年9月～現在 松山市南部生産組合代表理事	9a 水稲、麦、ナス 年間250日	各農業団体の役員も兼務して、地域からの信望も厚く、今後地域農業の発展に寄与していただけるものと期待して推薦するものである。	有	松山市石井地区総代会	石井地区の農業の振興と農業構造の改善に資する。	北村 健市	17	農業者

※溝辺については正しい漢字は正しい公称町名のとおり

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。 *
 ※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

個人推薦の状況

推薦を受けた者								推薦をした者					
番号 (五十番順)	区域	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況 (耕作面積・作付品目・農業 従事日数)	推薦の理由	農業委員候補者として の推薦の有無	氏名	職業	年齢	性別
1	難波	渡部 能行	農業	74	男	平成17年1月～現在 松山市交通指導員難波地区会長 令和5年4月～令和7年3月 難波中通区区长 令和5年6月～現在 えひめ中央農業協同組合総代 令和6年8月～現在 北条市土地改良区理事	60a キャベツ、ブロッコリー、プ ルーベリー 年間200日	地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も 高いと認められるため推薦するものである。	無	金子 秀樹 渡部 圭三 高橋 公雄	無職 農業 会社員	70 64 67	男 男 男

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。
 ※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

応募の状況

応募をした者									
番号 (五十音順)	区域	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況 (耕作面積・作付品目・農業 従事日数)	農業委員候補者とし ての応募の有無	応募の動機
1	西中島	有馬 幸一	自営業	75	男	<p>新商品の開発から市場への導入戦略、販売促進の企画立案、販売促進活動の運営、新規事業開発、飲食業や住宅建築販売企業の店舗開発やFC化企画等のマーケティング活動全般を約20年ほど手掛けた後、住宅建築販売FC企業の広報誌の制作をきっかけに、建築関連雑誌の国内外の取材・記事執筆を行う。</p> <p>取材した欧米の再生可能エネルギーを取り入れた住宅地開発、都市部や農耕・酪農地域の再開発の現地視察をコーディネート、さらに欧米の建築資材やエネルギー関連資材を製造・販売する欧州企業と日本企業との事業提携コーディネートなどを行う。</p> <p>その経験を生かして、屋久島での廃校を使った再生可能エネルギーを利用したシイタケ栽培、八代市での市内を数十キロにわたって張り巡らされた農業用水を利用したトマトハウスへの電力供給、陸前高田市での脱炭素地域交通等、構想を構築し具体化させるといふ国土交通省の交通・都市・生活の低炭素化に関する補助事業に3年連続して採択されました。</p> <p>陸前高田市では、構想実現化の一つとして電動バイクのレンタル事業の実証試験を環境省の補助事業として採択され、その企画運営を行う。</p> <p>その実証試験によって、農山村過疎地域の脱炭素地域交通システムでは、高齢者の移動手段としては軽自動車とシニアカーの間に位置する超小型EVが最適であるとの答えが抽出された事から、スイスで生産されている高齢者向け電動三輪車やオランダで生産されている高齢者のリハビリ用や障がい者の移動向けの特殊自転車の国内販売権取得を獲得し、国内企業とのコーディネイトを行い事業化を進めました。</p> <p>しかし、コロナウィルス渦や急激な円安により、事業推進が困難となり事業は中段した。</p> <p>事業中断をきっかけにリタイア。</p> <p>リタイア後は、絵画や工芸、執筆等好きなことをやっのんびり暮らしたいと常々考えていたので、2024年に横浜から松山市の怒和島に移住。</p> <p>移住地の元怒和で廃業した民宿を入手し、欧米で取材・経験してきた古い家の改装ノウハウを生かしてカフェに改装しオープン。カフェが地域の人々に受け入れられるようになり、帰省者や島の人達から、実家や帰郷予定の無い、家の処分に関する相談が持ち込まれるようになってきた。</p> <p>そこで、島嶼部の空き家を改装・改造して再利用する事を、今後のライフワークとしようと考えている所です。</p>	無	無	<p>増加し続ける空き家は今や大きな社会問題となっています。中でも、高齢化の進み方が早く、後継者のいない島嶼部の空き家の状況はかなり深刻です。築年数の古い空き家は、古民家としてインバウンド対策や地域の活性化の手法として宿泊施設や飲食店などに改装し、かなり話題にはなっていますが、ほとんどが近隣に観光地がある事や橋でつながっている比較的利便性の良い島嶼部での事で、観光資源も乏しく、農業や漁業等の一次産業が生活主体の小離島では、高齢化率は高く、継承者もほとんど無く、農業や漁業を継続させることがかなり困難な状況です。</p> <p>その為に耕作放棄が進み、荒廃した農地が加速度的に増加しています。</p> <p>この農地の荒廃は空き家や倒壊危険家屋の増加と密接に連動しているのが実態です。</p> <p>島嶼部の空き家対策は、放棄農地対策と切り離して考える事は現実的ではなく、一体化して進めることが重要であり、現実的である事を島の実情を見て実感しました。</p> <p>これらの島を無人島にしない為にも、農地利用最適化推進と空き家の再利用は急務・必須であると考えます。</p> <p>私は、単に空き家の利活用を行うだけではなく、農地利用最適化推進活動と連動させ、私の習得してきた知見を少しでも生かす事ができれば幸いだと思います応募しました。</p>
2	味生	二宮 清彦	無職	64	男	<p>平成元年3月 日本商工会議所簿記検定2級合格 平成18年7月 証券アナリスト2次試験合格 令和6年4月 伊予史談会において郷土史の研究</p>	無	有	<p>農林水産省に勤務する中で、様々な農業及び関係団体に係る行政に携わった経験を活かし、松山市の農業の発展に貢献したいとの思いが最も大きな応募の理由です。</p> <p>松山市は、多くの地方都市の例にもれず農地と市街地が混在しており、また、島しょ部、中山間地域における果樹栽培、副業的農家の割合が高いことを特徴としますが、農家の高齢化等により遊休地や活用されない農地の増加が懸念されています。そのため、今後の農業の維持・育成においては、農地等の利用の最適化を推進することが肝要であると考えます。また、その具体的な対応である地域プランの策定等に、これまでに培った知見がその一助になればと思います応募させていただきました。</p>